



2026年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年7月15日

上場会社名 株式会社エータイ 上場取引所 東
コード番号 369A URL <https://a-tie.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 樺山 玄基
問合せ先責任者（役職名） 取締役（氏名） 田中 佑治 TEL 03(6328)3526
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト・個人投資家向け）
(百万円未満切捨て)

1. 2026年8月期第3四半期の業績（2025年9月1日～2026年5月31日）

（1）経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年8月期第3四半期	2,596	19.5	646	7.7	698	17.1	405	△2.5
2025年8月期第3四半期	2,172	—	600	—	596	—	415	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年8月期第3四半期	95.67	94.29
2025年8月期第3四半期	103.94	—

（注）1. 2024年8月期第3四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2025年8月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

2. 2025年8月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であったことから、期中平均株価が把握できませんので、記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
2026年8月期第3四半期	4,103		3,260		79.5
2025年8月期	3,881		3,162		81.5

（参考）自己資本 2026年8月期第3四半期 3,260百万円 2025年8月期 3,162百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年8月期	—	0.00	—	46.00	46.00
2026年8月期	—	27.00	—		
2026年8月期(予想)				27.00	54.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年8月期の業績予想（2025年9月1日～2026年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,415	16.6	859	20.5	856	21.4	569	24.4	134.49

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年8月期3Q	4,242,900株	2025年8月期	4,231,000株
2026年8月期3Q	一株	2025年8月期	一株
2026年8月期3Q	4,237,699株	2025年8月期3Q	4,000,000株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はT D n e t で2026年7月15日に同日開示し、開示後速やかに当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第3四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	5
(セグメント情報等の注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	5

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の回復を背景に、緩やかな回復基調で推移いたしました。

一方で、物価上昇の継続や為替相場の変動等による輸入コストの増加が企業収益や個人消費に影響を及ぼしたほか、実質賃金の伸び悩みもみられたことから、景気の先行きについては依然として不透明な状況が続きました。

世界経済におきましては、米国では個人消費は底堅く推移したものの、金融政策の動向や景気減速への懸念が引き続き意識されました。欧州ではインフレ圧力の緩和が一部で見られるものの、エネルギー価格や地政学的要因の影響を受け、景気は引き続き弱含みで推移いたしました。また、中国では不動産市場の低迷や内需の弱さを背景に景気回復は力強さを欠く状況が続きました。また、中東情勢やウクライナ情勢などの地政学的リスクに加え、金融資本市場の変動等の影響もあり、世界経済の先行きは依然として不透明な状況が続きました。

このような環境の中、当社ではサービスサイトを刷新し、案内件数および成約率の向上を図るなど、集客チャネルの最適化を推進しております。サービスサイト刷新に伴う先行投資が影響した時期もありましたが、その後は成約率の改善と適正な費用コントロールが功を奏し、売上高は概ね目標を上回る順調な推移を見せております。

さらに、新規寺院の開苑にも注力することにより、2025年10月に2寺院、2025年11月に2寺院、2025年12月に1寺院、2026年1月に2寺院、2026年3月に2寺院、2026年4月に2寺院、2026年5月に1寺院を開苑しました。これら新規拠点は着実に全社売上高の押し上げに貢献しております。

この結果、当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高2,596,739千円（前年同期比19.5%増）、営業利益646,415千円（前年同期比7.7%増）、経常利益698,125千円（前年同期比17.1%増）となりました。四半期純利益は、中間会計期間において減損損失を計上したことにより、405,435千円（前年同期比2.5%減）となりました。

なお、当社は寺院コンサルティング事業の単一セグメントであり、セグメント別の記載をしておりません。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期会計期間末における資産合計は4,103,729千円となり、前事業年度末に比べ222,718千円増加いたしました。

当第3四半期会計期間末における流動資産は2,150,193千円となり、前事業年度末に比べ34,177千円増加いたしました。これは主として、現金及び預金が37,120千円増加したこと、売掛金が11,390千円増加したこと及び流動資産のその他が16,633千円減少したことによるものであります。また、固定資産は1,953,536千円となり、前事業年度末に比べ188,540千円増加いたしました。これは主として、投資その他の資産の長期前払費用が205,282千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は843,084千円となり、前事業年度末に比べ124,126千円増加いたしました。

当第3四半期会計期間末における流動負債は702,915千円となり、前事業年度末に比べ114,551千円増加いたしました。これは主として、買掛金が36,941千円増加したこと、未払金が27,391千円増加したこと及び未払消費税等が33,910千円増加したことによるものであります。また、固定負債は140,169千円となり、前事業年度末に比べ9,574千円増加いたしました。これは、固定負債のその他が9,574千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は3,260,644千円となり、前事業年度末に比べ98,591千円増加いたしました。これは主として、前事業年度の期末配当194,626千円及び当事業年度の中間配当114,515千円があったものの、四半期純利益405,435千円を計上したことにより、利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年8月期の業績予想につきましては、2025年10月15日に公表の「2025年8月期決算短信」の内容より変更はありません。なお、業績予想は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年8月31日)	当第3四半期会計期間 (2026年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,054,560	2,091,680
売掛金	2,953	14,343
貯蔵品	13,692	15,992
その他	44,809	28,176
流動資産合計	2,116,015	2,150,193
固定資産		
有形固定資産	30,578	46,074
無形固定資産	7,283	7,948
投資その他の資産		
長期前払費用	1,438,652	1,643,935
その他	318,749	255,577
貸倒引当金	△30,268	—
投資その他の資産合計	1,727,133	1,899,513
固定資産合計	1,764,995	1,953,536
資産合計	3,881,011	4,103,729
負債の部		
流動負債		
買掛金	82,613	119,555
未払金	176,917	204,309
未払法人税等	103,479	99,547
未払消費税等	16,972	50,883
賞与引当金	142,917	168,092
移設支援費用引当金	20,250	20,250
その他	45,212	40,277
流動負債合計	588,364	702,915
固定負債		
役員退職慰労引当金	12,506	12,506
その他	118,087	127,662
固定負債合計	130,594	140,169
負債合計	718,958	843,084
純資産の部		
株主資本		
資本金	164,092	165,241
資本剰余金	144,092	145,241
利益剰余金	2,853,867	2,950,161
株主資本合計	3,162,052	3,260,644
純資産合計	3,162,052	3,260,644
負債純資産合計	3,881,011	4,103,729

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年5月31日)
売上高	2,172,524	2,596,739
売上原価	670,714	828,220
売上総利益	1,501,810	1,768,518
販売費及び一般管理費	901,580	1,122,102
営業利益	600,230	646,415
営業外収益		
受取利息	940	2,228
補助金収入	—	4
還付加算金	—	83
貸倒引当金戻入額	—	30,268
受取和解金	—	18,527
その他	478	623
営業外収益合計	1,418	51,734
営業外費用		
支払利息	7	23
社債利息	40	—
上場関連費用	5,247	—
雑損失	35	1
営業外費用合計	5,331	24
経常利益	596,317	698,125
特別損失		
減損損失	—	110,305
特別損失合計	—	110,305
税引前四半期純利益	596,317	587,820
法人税等	180,565	182,385
四半期純利益	415,752	405,435

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

当社は、寺院コンサルティング事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産及び長期前払費用に係る償却費を含む。)は、次の通りであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年5月31日)
減価償却費	231,807千円	318,823千円